



著作権教育に係る取組と課題

一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会

Association of Copyright for Computer Software





ACCSの紹介

正式名称

一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会
(Association of Copyright for Computer Software)

活動趣旨

デジタル著作物の権利保護や著作権の普及活動を通じて、コンピュータ社会における文化の発展に寄与する。

会員数(2016年2月29日現在)

- ◆正会員 141社
- ◆賛助会員 29社

活動内容

- ・教育・広報啓発活動
- ・権利執行支援活動
- ・調査研究活動





ACCSの教育・広報啓発活動

講師派遣

- ◆ 企業、自治体、教育機関などの要請に応じ、講師派遣

主催セミナー

- ◆ 著作権に関する会員向けセミナー、夏休み子どもセミナーの開催

小冊子・ポスターの配布

Webサイトでの情報提供（著作権Q&A）





講師派遣

✎教育機関(教育委員会、教育センター、小中高、大学等)むけの講師派遣については、減少傾向

年度	学校、教育機関向け	内訳
平成17年度	61件	教育委員会:10件 小学校:3件 中学校:10件 高校:10件 大学:18件／その他:10件
平成27年度	25件(仮)	教育委員会:1件 小学校:1件 中学校:0件 高校:2件 大学:14件／その他:7件

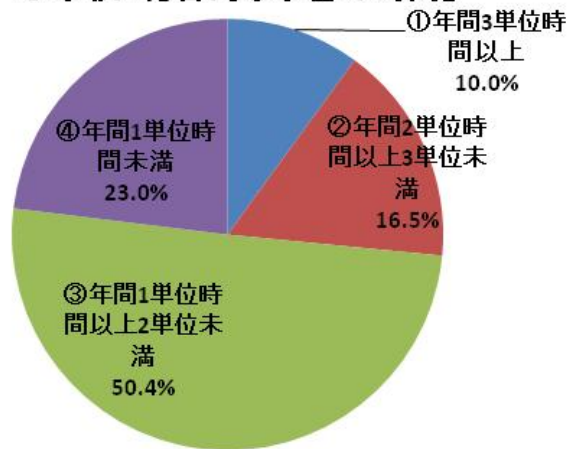




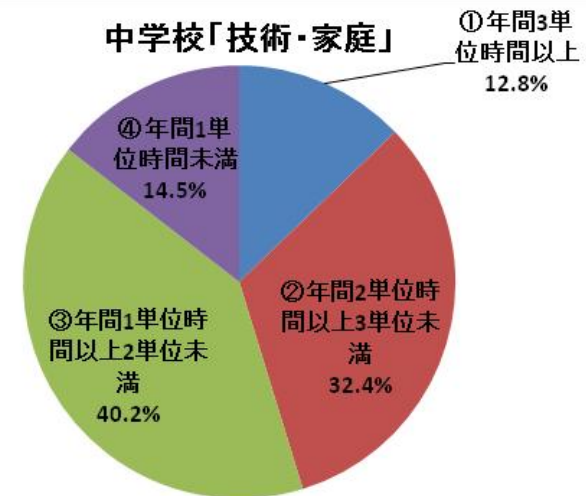
学校において著作権がとりあげられた教育活動

最も多くの時間をかけた教科とあてられた時間数

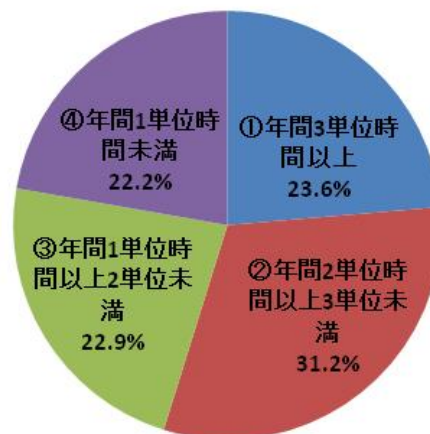
小学校「総合的な学習の時間」



中学校「技術・家庭」



高等学校・中等教育学校「情報」

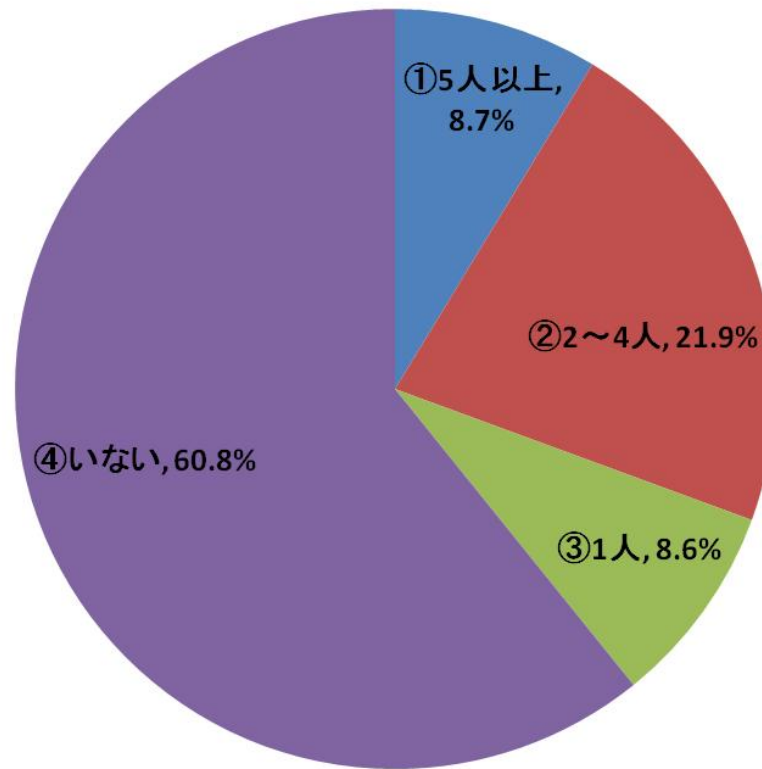




著作権に関する教員研修

過去3年間で著作権に関する研修を受けた教員数

全体(小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校)



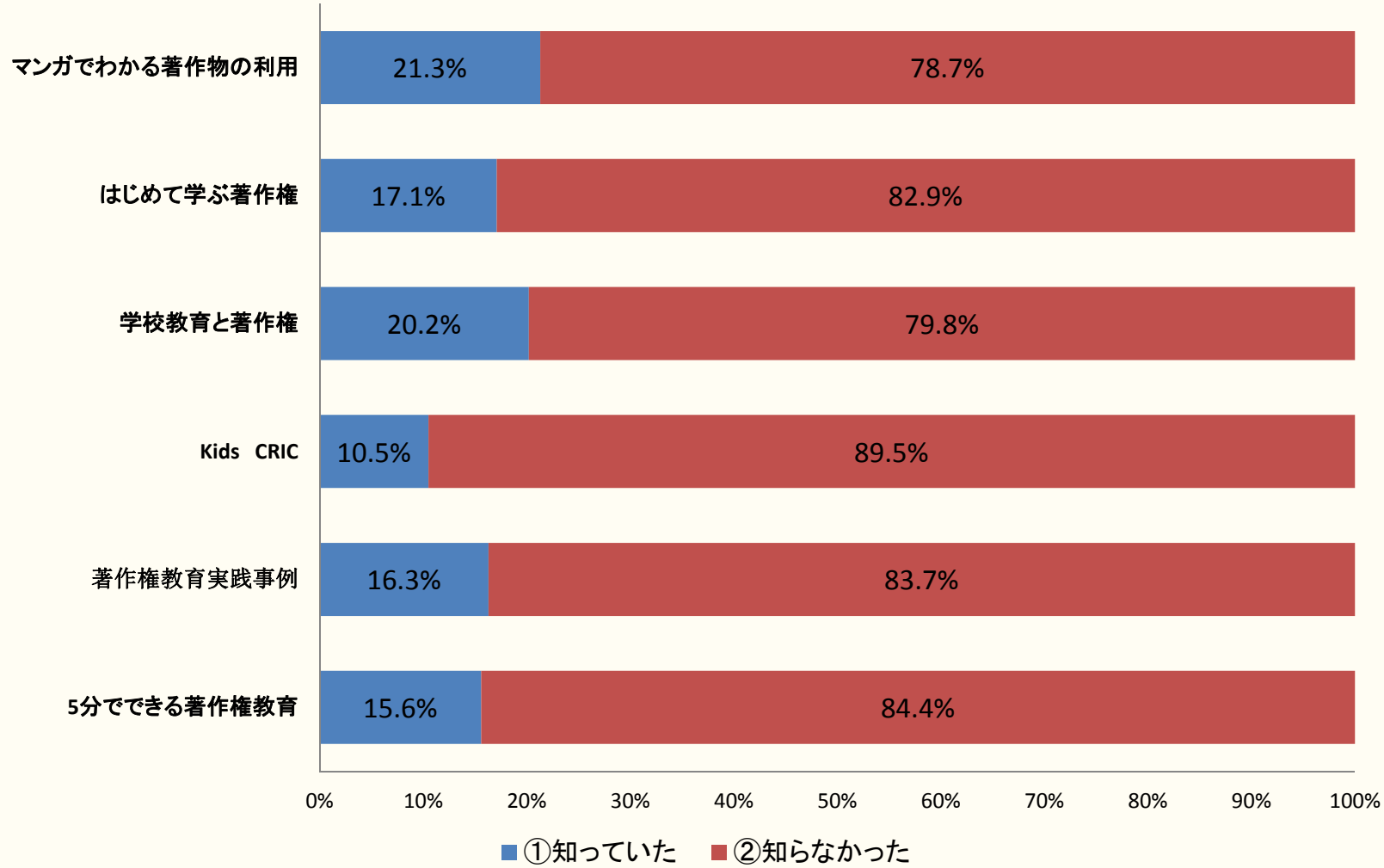
学校における著作権教育のアンケート調査報告書 (<http://www2.japet.or.jp/copyright/H26report1.pdf>) より
一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会





著作権に関する資料・情報の活用状況

全体(小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校)



学校における著作権教育のアンケート調査報告書 (<http://www2.japet.or.jp/copyright/H26report1.pdf>)より
一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会





課題

✎ 著作権については、平成23年以降の学習指導要領に、小学校、中学校、高等学校における著作権に関する指導内容記載。

しかし、

- ◆ 実際に授業内で著作権を取りあげることができる時間が非常に限られている。
- ◆ 著作権について指導できる教員が少ない。





要望

- ✎ 著作権教育について具体的な指導内容を学習指導要領に明記すること
- ✎ 著作権教育を実施できる教員の育成を強化すること(教員免許更新時の講習への組み入れなど)
- ✎ 外部(著作権団体等)と教育委員会・学校等が連携をとれるような施策を実施すること





参考資料：学校における著作権教育のアンケート調査

✎学校における著作権全般に対する意識、及び指導・運営面での実態を把握し、今後の著作権普及啓発活動に生かすため、平成16年度、22年度、26年度の3回実施。

- ◆対象：無作為抽出による全国国立、公立、私立の小・中・高等学校・中等教育学校・特別支援学校約4,000校
- ◆企画：公益社団法人著作権情報センター／実施：一般社団法人日本教育情報化振興会／協力：文化庁長官官房著作権課
- ◆報告書掲載

—<http://www.japet.or.jp/Top/Comissioned/copyright/>





参考資料：著作権教育に関する資料①

- ✎ 5分でできる著作権教育 (<http://chosakuken.jp/>)
- ✎ 著作権教育実践事例
(<http://www.cric.or.jp/education/jissenrei.html>)
- ✎ Kids CRIC (<http://kids.cric.or.jp/>)
- ✎ 学校教育と著作権 (<http://www.cric.or.jp/qa/cs01/>)
- ✎ はじめて学ぶ著作権
(http://chosakuken.bunka.go.jp/chosakuken/hakase/hajimete_1/index.html)
- ✎ マンガでわかる著作物の利用
(http://chosakuken.bunka.go.jp/chosakuken/h22_manga/index.html)





参考資料：著作権教育に関する資料②

5分でできる著作権教育

提供：公益社団法人著作権情報センター(CRIC)/一般社団法人日本教育情報化振興会(JAPET)

**とっても大事 わずかな時間ですぐにはできる
すべての先生が気軽に取り組むためのWeb教材**

簡単な事前準備だけで教員授業に取組める「校種・教科別授業案」
著作権教育の全体構成における豊富な指導事例の位置づけがわかる「段階的指導モデル」の表示
役立つ「資料編」ももっとくわしく「虎の巻編」

著作権教育のご案内
5分でできる著作権教育
著作権教育の実践事例
みんなのための著作権教室
著作権教育アンケート調査

このサイトの目的
著作権教育への提案

著作権教育の
段階的指導モデル

このサイトの構成と
活用方法

校種・教科別授業案

役立つ資料編

虎の巻編

関連リンク集

ご意見・感想を
お寄せください

Q&A
友だちの作品をまねしちゃいけないの？
もっと読む...

Q&A
使っていない場合と使いにくい場合
もっと読む...

Q&A
他人の著作権を意識する
もっと読む...

違法ダウンロードの刑事罰化についてのQ&A(文化庁ページ)

先生、例えば子どもたちのこんな疑問に答えられますか？

5分でできる著作権教育 (<http://chosakuken.jp/>)

CRIC 公益社団法人著作権情報センター

Copyright Research and Information Center

English HOME サイトマップ 検索

セミナーのご案内 出版物・DVDのご案内 著作権データベース 著作権Q&A 相談室・資料室 著作権教育 CRICについて

著作権教育のご案内
5分でできる著作権教育
著作権教育の実践事例
みんなのための著作権教室
著作権教育アンケート調査

「著作権教育の実践事例」募集事業

- ▶ 著作権教育の実践事例 趣旨
- ▶ 第10回 入賞事例
- ▶ 第9回 入賞事例
- ▶ 第8回 入賞事例
- ▶ 第7回 入賞事例
- ▶ 第6回 入賞事例
- ▶ 第5回 入賞事例
- ▶ 第4回 入賞事例
- ▶ 第3回 入賞事例
- ▶ 第2回 入賞事例

情報社会においては、様々なトラブルを未然に防ぐために、「自分や他者の権利を正しく理解し、ルールやマナーを守る」姿勢を培うことが重要な課題とされています。【著作権】はそうした情報社会のキーワードのひとつとなっており、学習指導要領においても著作権教育の重要性が謳われています。

当センターは、著作権制度が広く社会一般に普及・定着するためには、初等中等教育段階において著作権に関する基礎的な知識を身につけてもらうことが重要であるとの観点から、2006年度から2014年度まで、著作権教育実践事例募集事業を行いました。そして、著作権の理解や尊重に役立つ「優秀な事例」や「モデルとなる事例」を広く教育関係者に紹介し、今後の著作権教育において活用していただくため、入賞事例を本サイトで公開しています。

この事業は、著作権法100周年を記念して設立された「著作権法百年記念基金」をもとに実施しました。

ちよちゃん さくちゃん けんちゃん
著作権制度100周年記念キャラクター
絵 やなせたかし

ページの上部へ戻る

公益社団法人著作権情報センター 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー32階 Map
TEL 03-5348-6030 FAX 03-5348-6200

著作権教育の実践事例 (<http://www.cric.or.jp/education/jissenrei.html>)





ご清聴ありがとうございました

